



Release / 解放

渡辺英司 / Eiji Watanabe

2022

3/6(日)～3/21(月・祝)

観覧無料 11:00～18:00

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

静岡市葵区東静岡1-3-76

JR東静岡駅北口すぐ・静鉄長沼駅から徒歩約4分 駐車場あり(有料)

Art@^{ヒロバ}東静岡



1



2



3

渡辺英司は、愛知を拠点に1990年代より国内外で個展やグループ展を開催し、近年は各地の芸術祭で目覚ましい活動を展開している。その作品は、美術ジャンルの枠にとらわれず、社会や場や地域と関わりながら、新たなものの見方・考え方を提起するコンセプチュアル(概念/言語的)アートといえよう。しかしそれらは、ビジュアルリティ(見た目)も秀逸で、会場となる場の記憶や特色を生かしながら、空間を容容させる力を持っている。今回のヒロバでの発表は、ここ30年にわたって取り組んでいる、図鑑と図像をモチーフにしたインスタレーションである。植物図鑑や蝶図鑑といった図鑑から「図」を切り抜くことで、人間による知的捕捉の網の目から解放し、展示空間を生命のざわめきで満たす。人間による自然探求のモデルとしての図鑑への知的関心、整理分類を超えた生命のつながり、また神秘的なまでの色彩と形態を、与えられた空間に解き放つ。

白井嘉尚(美術家・静岡大学名誉教授)

アーティストトーク(雨天中止)

3/6(日) 13:30~

場所:東静岡アート&スポーツ/ヒロバ コンテナギャラリー

1. 「ARTZUID 2017」アートチャペル(アムステルダム、オランダ) 2017 ©photo Eiji Watanabe
2. 「出会い」展 東京オペラシティアートギャラリー 2001 ©photo Tetsuo Ito
3. 「ミーツ・アート 森の玉手箱」箱根彫刻の森美術館 本館ギャラリー 2014 ©photo Eiji Watanabe



主催:東静岡アート&スポーツ/ヒロバ実行委員会
企画制作・運営・問合せ:公益財団法人静岡市文化振興財団(054-255-4746 平日8:30-17:30)
<https://event.shizuoka-city.or.jp/art/>

渡辺英司/Eiji Watanabe

1961年生まれ。1985年愛知県立芸術大学彫刻科卒業。
2004-2005年 文化庁芸術家在外派遣研究員として
スコットランドに滞在(エジンバラ芸術大学客員研究員)。
1994年よりケンジタキギャラリー(名古屋/東京)にて定期的に作品を発表。

主な展覧会

- 2001 「出会い」展 東京オペラシティアートギャラリー(東京)
- 2007 「笑い」展:現代アートにみる「おかしみ」の事情 森美術館(東京)
- 2010 「第1回あいちトリエンナーレ」(名古屋)
- 2014 「ミーツ・アート 森の玉手箱」箱根彫刻の森美術館 本館ギャラリー(箱根)
- 2017 「ARTZUID 2017」アートチャペル(アムステルダム、オランダ)
- 2019 「あいちアートクロニクル」展(名古屋)
- 2021 「かけがわ茶エンナーレ2020+1」(掛川)